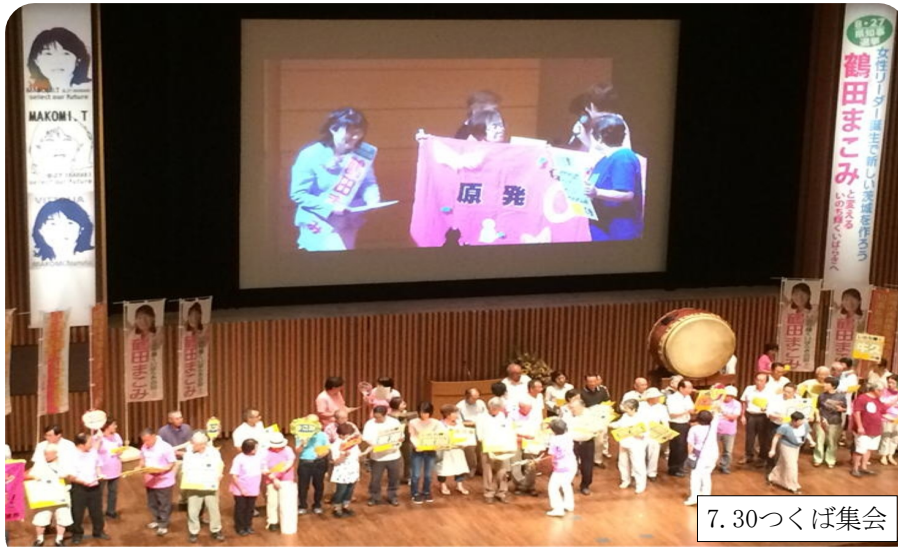


私たちの活動や意見を
仲間で共有します
会費は県と日本平和委
員会の活動も支えます

土浦平和の会ニュース

発行：土浦平和の会
事務局：土浦市鳥山2-530-
296
ホームページ：//heiwatutiura.
web.fc2.com/

東海第2原発再稼働阻止をきっぱり 主張する女性候補を知事に押し上げよう



7.30つくば集会

☆NHKEテレ：イタリア語会話講師
☆こどもの虐待防止や動物愛護のNPO法人で活動

女性候補の公約

ストップ！原発

- ・地震の多い本県で、老朽化し被災した東海第2原発は再稼働させません。
- ・安全な原発はありません。
- ・30キロ圏内96万人の避難は不可能です。

みんなが安心

- ・待機児童ゼロ、18歳までの医療費完全無料（窓口支払いなし）、子育て支援を充実させます。
- ・医師不足解消、介護体制の支援を強めます。
- ・大学生への給付型奨学金制度を創設します。

文化・スポーツ振興

- ・イタリアをはじめとした市民の自治と歴史が生きる国々との交流で、文化輝き、教育の希望溢れる茨城をつくります。

地域を元気に

- ・農家への戸別所得補償を復活します。

今後4年間の茨城県政をどのようなものにするのか。10日、県知事選が告示されました。茨城県平和委員会は、前号で詳報しましたように、3候補の中で唯一、「東海第2原発再稼働・20年延長運転反対」を公約にかかげている女性候補を推薦し、応援することを決めています。土浦平和の会理事会は、この県の方針を支持することを7月18日に確認しました。なお、投票は11日以降いつでもできます。

新社会党、つくば・市民ネットワーク、とりで生活者ネットワーク、日本共産党、緑の党グリーンズジャパンの6政党・団体の推薦を受けた「いのち輝くいばらきの会」を確認団体とする候補者です。（特定の政党には所属していません。）

候補者プロフィール

- ☆つくば市在住
- ☆東京外国語大学大学院博士課程修了（修士）
- ☆イタリア・ヴェネツィア大学留学
- ☆武蔵野音楽大学でイタリア語・イタリア文学講師

女性候補の立場

女性候補は、県市民連合と茨城一新会（小沢一郎後援会）、

- ・ 正規雇用を支援し、中小企業の人材確保をすすめます。
- ・ ブラックな働き方をなくします。

いのちを大切に

- ・ こどもの健康調査を継続的に実施し、放射能から守ります。
- ・ 犬猫の殺処分をなくします。

県民が主役

- ・ 行政文書の情報公開を徹底します。
- ・ 対話の機会を増やし、県民の声をいかにします。

原爆と人間展8/2-9に開催



今年の「原爆と人間展」は8月2日から9日まで県南生涯学習センターで開かれ期間中、1685人が訪れヒロシマ、ナガサキの悲惨な被爆写真パネルに見入りました。千羽鶴折りや核廃絶署名の呼びかけには、子供連れの

若いお母さん方が積極的に対応してくれて、「原爆は本当に恐ろしいです。こんなことは2度と繰り返してはならないです。」「広島にも長崎にも住んでいたのに関心があります。戦争は絶対にいけません。」などそれぞれの思いを語っていました。感想ノートには「私は教育者として子ども達に戦争の悲惨さを語り継いでいく責任を感じています。」「原爆、それは人々を死にいたらしめ、あるいは、重い後いしょうを残していく。良いことはないのに。(小6)」「人間はなんと愚かな生物だろう。」とありました。今年国連で核兵器禁止条約が採択されたこともあって、例年より真剣に見入る人が多かったような気がします。

東海第2原発の20年延長運転・再稼働阻止！
さよなら原発茨城アクションに参加を
8月26日(土)東海村阿漕(あこぎ)が浦公園
13:20~14:00 集会 14時~15時人間の鎖
参加希望の方は近藤(080-1987-4050)まで

いま、27日投票の茨城県知事選に向け、日本共産党を含む6政党・団体が推す女性候補者が奮闘中です。そして、相手は現職知事と自・公が推す新人ですが、女性候補はがっぷり四つの闘いをしています。

6月になっても、私たちが求める候補者が誰になるのか分からない状況の中、野党と市民の共闘を追求する『県市民連合』が核となって6月26日、ようやく、つくば市在住の女性が無所属で出馬表明するのを知りました。私は現在、4

リレー随想

**いのち輝く
県政をめざして**

市町(石岡・小美玉・かすみがうら・茨城)による新たな広域ごみ処理施設建設を阻止するために議会内外で闘っている最中ですが、その闘いの一環として裁判闘争も行っていきます。その代理人が坂本博之弁護士ですが、なんと、立候補を表明した女性は奥さんだということを知りました。市民連合の中では坂本先生が候補者として名前が挙がっていたところ、先生が「私の妻が適格では…」と推され、彼女に白羽の矢が当たったとのことです。

7月30日のつくば国際会議場での大集会は1300人の参加者で溢れましたが、本人の決意表明を聞き、まさに適格で素晴らしい候補者だと確信しました。何よりも『東海第二原発の再稼働反対』を明確に表明し、大型開発優先の県政から福祉優先に切り替えることを訴えてくれたことに共感しました。

ところが、一方の現職知事は「原発問題は争点にならない」と言っておきながら、彼女の立候補で「運転には慎重に対応」との態度を示し、10日の第一声では「再稼働は認めない」と発言したとのことです。これまで県民運動で『再稼働反対』署名を突きつけて要請しても知事は「地震が少なく、津波が来ない安全な場所であれば(可能)」と述べたという事実があります。そして市民団体から「(日本に)そんなところがあるんですか」と突っ込まれる一幕もあったとのことです。現職知事の発言は、7選阻止を掲げる自公候補者をも意識しているようですが、なによりも彼女の立候補と支持の広がりをおそれたものだと思います。権力に執着する姿ほど醜いものはありません。

今回の知事選の闘いの構図は、けっして3つ巴(どもえ)ではありません。安倍自公政権+補完勢力対市民と野党の共闘の闘いだと思います。女性候補の主張の効果は既に出ています。これを本物にできるかどうかは、今後の闘いにかかっています。私も「いのち輝くいばらき」をめざし全力を尽くしたいと思っています。

(かすみがうら市議 佐藤文雄)